

船舶事故等調査報告書

平成26年7月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014横第29号
事故等種類	のり養殖施設損傷
発生日時	平成26年3月1日（土） 11時00分ごろ
発生場所	千葉県富津市明治百年記念展望塔北北西方沖 富津市所在の富津港東防波堤灯台から真方位280° 1.7海里付近 （概位 北緯35° 19.4′ 東経139° 46.9′）
事故等調査の経過	平成26年3月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーモーターボート ^{にちわ} 日和丸、5トン未満
船舶番号、船舶所有者等	235-30394千葉、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	本船 なし のり養殖施設 のり網12枚及び枠網1本の切断
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、明治百年記念展望塔北北西方沖を北進中、船長が、富津市富津岬北方にのり養殖施設が設置されていることを知らず、海面に直列に並んでいるブイを認め、船首方に赤い旗が見えたので、危ないと思い、旗から離れようとしてブイの間を航行し、平成26年3月1日11時00分ごろ、プロペラにのり網等が絡み、航行不能となった。 船長は、出発地の千葉県木更津市所在のマリーナに連絡を行い、来援した漁業協同組合の組合員がプロペラに絡んだのり網等を切断し、本船は、のり養殖施設から引き出され、自力で航行して出発地に帰った。
気象・海象	気象：天気 曇り時々小雨、風向 北北東、風力 2 海象：潮汐 低潮時
その他の事項	船長は、急に本船が停船して機関が停止したので、プロペラに異物が絡んだと思い、船尾付近を確認してのり網の存在に気付いた。 船長は、出港前、本事故当日の潮汐や天候等についての情報を得ていたが、航行予定海域の水路調査を行っておらず、また、過去に本事故発生場所付近を航行したときは、富津岬から離れて航行していたので、のり養殖施設等の存在を知らなかった。 船長は、本事故後、のり養殖施設のブイ及び赤い旗が何を意味しているかも分からずに航行したので、事前に水路調査を行い、GPSプ

	<p>ロッターで船位を確認しながら航行すれば、本事故の発生を防止できたと思った。</p> <p>海図W1081には、本事故発生場所周辺にのりひび多数ありとの記載がある。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>あり なし なし</p> <p>本船は、明治百年記念展望塔北北西方沖を北進中、船長が、航行予定海域の水路調査を行っていなかったことから、本事故海域付近にのり養殖施設が設置されていることを知らず、ブイ及び赤い旗を認めて危ないと思い、旗から離れようとしてブイの間を航行し、プロペラにのり網等が絡み、のり養殖施設が損傷したものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、明治百年記念展望塔北北西方沖を北進中、船長が、航行予定海域の水路調査を行っていなかったため、本事故海域付近にのり養殖施設が設置されていることを知らず、ブイ及び赤い旗を認めて危ないと思い、旗から離れようとしてブイの間を航行し、プロペラにのり網等が絡んだことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に水路調査を行い、のり養殖施設等を確認しておくこと。 ・ GPSプロッターにのり養殖施設設置区域を入力し、船位の確認を適切に行い、同区域に接近しないよう、十分に注意して航行すること。